

民法 (配点 60 点)

以下の設例を読んで、設問に答えなさい。なお、各設問は独立である。

【設例】

XとYは、令和3年2月1日、Xの所有する甲土地を代金3000万円でYに売却する旨の契約を締結し、契約と同日に、Xは、Yに甲土地を引き渡し、登記をY名義に移転した。その後、Xは、Yの詐欺によって当該契約を締結させられたことが判明したので、Yに対し、同年3月1日、甲土地の売買契約を取り消すという内容の書面を送った。しかし、Yは、Zに対し、同年4月1日に、甲土地を代金4000万円で売却し、同日に甲土地を引き渡し、登記をZ名義に移転した。

【設問1】 (配点40点)

Xは、Zに対し、同年5月1日、甲土地の所有権の登記をX名義に戻すよう求めた。Xの請求は認められるか。

【設問2】 (配点20点)

XがZに登記名義に戻すように求めたにもかかわらず、Zは、Wに対し、同年6月1日、甲土地を2000万円で売却し、登記をW名義に移転した。Wは、XがZに登記名義に戻すよう請求したことを知り、Xの請求を阻害することを目的に、Zを説得して時価より安い価格で甲地を買い受けたものである。その後、Xは、Wに登記が移転していることを知り、同年7月1日、Wに対し、甲土地の所有権の登記をX名義に戻すよう求めた。Xの請求は認められるか。

以上